



2013年9月13日

各 位

会社名 イオン九州株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山口 聡一
 (コード番号: 2653 JASDAQ)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 榊 隆之
 (電話番号 092-441-0611)

当社の親会社名 イオン株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
 (コード番号: 8267 東証第1部)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2013年4月9日に公表した第2四半期累計期間の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2014年2月期 第2四半期(累計)業績予想の修正(2013年3月1日~2013年8月31日)

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	124,300	450	400	100	5.33
今回修正予想(B)	122,900	200	10	320	17.03
増減額(B-A)	1,400	650	410	420	
増減率	1.1%	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2013年2月期第2四半期)	122,509	187	374	602	32.09

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間における当社を取り巻く環境は、雇用や個人消費において緩やかな回復の兆しが見られつつあるものの、円安の進行による原材料価格やガソリン価格の上昇および競争環境は一層激しさを増し、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社はイオンのブランド「トップバリュ」を中心に、お客さまの生活応援の取り組みを継続実施してまいりました。食料品では、業種業態を越えた販売競争への価格対応を行い、利益率は低下いたしました。売上は前年同期を上回る見込みです。

衣料品では、例年より早い梅雨明けにより、一部の盛夏商材が好調に推移したものの、記録的な猛暑やお客さまの節約志向の影響もあり、売上が伸び悩みました。

このような状況を踏まえ、当第2四半期累計期間の業績予想につきまして、営業収益は、1,229億円、営業利益は2億円の損失、経常利益は10百万円の損失、四半期純利益は、固定資産の減損損失3億25百万円の計上により、3億20百万円の損失に修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、客数増加への取り組みや新規出店効果などを勘案し、2013年4月9日に公表しました業績予想を変更いたしません。

以 上

* 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。